

いろいろな機関が子育てのお手伝いをします。

けいしょう保育園

TEL 2-0540

子育てを支援する総合施設として、地域の子育て家庭に対する育児支援を総合的に行います。

◎開設時間 7時30分～18時30分

延長保育：保護者の都合により迎えが困難な場合。
※別途利用料がかかります。

土曜保育：13時～18時30分 ※両親ともに勤務されている方や
急用等で過程で育児ができない方。

◎その他

一時保育：1日2,000円（半日1,000円）
病後児保育：1日1,500円（3歳以上児）
1日2,000円（3歳未満児）
※半日単価あります。

子育て支援センター「つぼみ」

TEL 2-0540

乳幼児とその保護者同士の交流の場を提供します。いろいろな相談に応じたり情報を発信します。

◎開設時間：月～金曜日：9時～16時30分

土曜日：9時～12時

◎育児相談：相談者の希望する時間に対応します。

◎その他：子育て通信発行・育児講座の開催等

◎子育てサポート事業

サポーター募集中

両親共に急用等で、育児ができない時など
に子育てサポーターがお世話をします。

対象年齢：小学6年生まで

利用料金：1時間あたり200円

放課後児童クラブ「あまっ子」

TEL 2-0540

放課後に適切な遊びや集団生活、生活の場を提供します。

◎開設時間

学校開校日 月～金曜日：放課後～18時30分

土曜日：8時～18時30分 ※両親共に勤務されている方

学校休校日 8時～18時30分（春休み・夏休み・冬休み・臨時休校日）

◎利用料金

月額：2,000円

（おやつ代、活動費、保険料等）

※長期休みの利用は別途利用料がかかります。

温たまたまクラブ（社会福祉協議会）

TEL 2-0010

自由な空間でほっとしたひと時を過ごせます。（フリースペース型サロン）

◎開放時間：9時～17時

◎利用料：無料

教育委員会

TEL 2-1221

豊かな体験活動の企画や、子育てに関する学習機会を提供します。

◎ダッシュ村（自然体験など）

◎アドベンチャーキャンプ（小5～中3）

◎通学合宿（小4）

◎生活学校（中3）など

◎中央図書館（隠岐総合開発センター内）

開設時間：10時～18時

休館日：火曜日

※ブックスタート（新生児に絵本のプレゼント）を実施しています。

絵本コーナーも
充実しています。

あまマーレ（共育課）

TEL 2-2525

「趣味」をキーワードに「あそぶ、つくる、くつろぐ」ことが交流や学びにつながる場所です。

◎開設時間：10時～17時

◎休館日：木曜日

◎利用料：無料

※施設内や園庭で自由に遊べます。

◎島ばっば交流会

親子と地域のおばあちゃん達の交流会を行っています。

内容：郷土料理を作りみんなで食事会

※開催日はIP告知または、ホームページでお知らせします。

役場（健康福祉課）

TEL 2-1822

保健師や栄養士が育児に関する相談や情報の提供を行っています。

◎乳幼児相談・交流

毎月第2金曜日

子育て支援センター「つぼみ」

◎経済的支援：子育て支援条例など

◎育児ヘルパー派遣事業

育児ヘルパー募集中

妊娠中または出産後に家事や育児支援などの子育て支援を行います。

対象：妊娠中および産後6か月までの子がいる家庭

利用時間：9時～17時（1日2時間まで、計20時間まで）

利用料金：1時間あたり500円

第5期海士町エンゼルプラン 概要版

[編集・発行・問合せ先]

海士町役場 健康福祉課

〒684-0403 島根県隠岐郡海士町大字海士1490番地

電話 08514-2-1823（直通）

FAX 08514-2-0208

～海士町住みよいまちづくり計画～

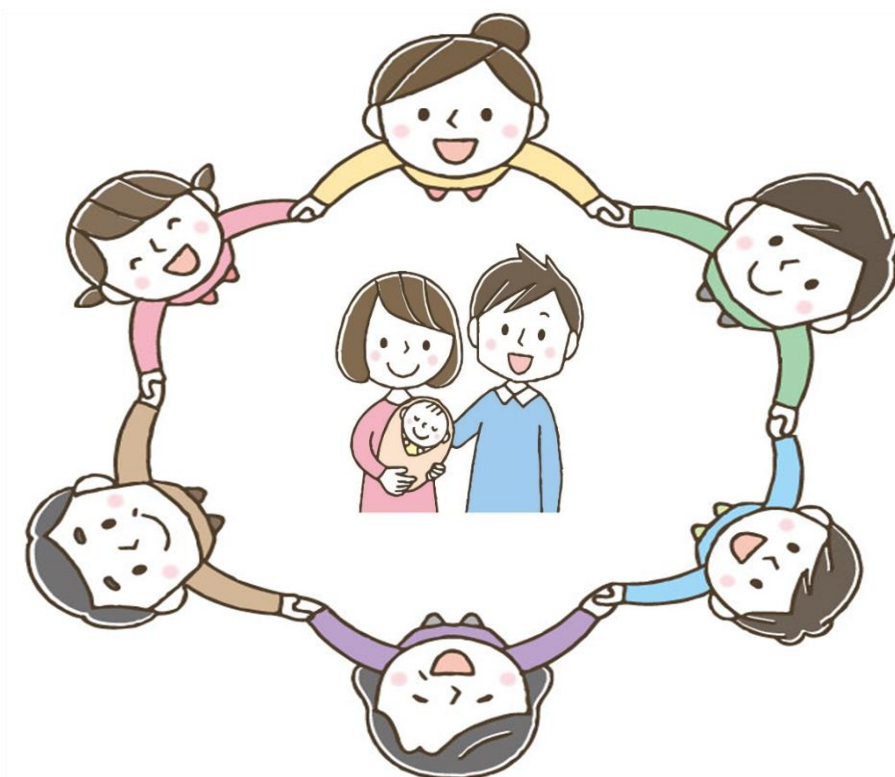
概要版

第5期海士町エンゼルプラン

（子ども・子育て支援事業計画）

海士まるごと安心家族

～つなぐよみんなで 子育ての輪～



海士町エンゼルプランとは

子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画です。子育てを取り巻く新たな課題を踏まえ、子育て支援事業の充実や母子保健事業等、各種支援の整備に向けた計画を定めるものです。

また、平成16年に時限条例として制定した、「海士町すこやか子育て支援に関する条例」の改正も包含した計画とし、子育てにやさしいまちづくりを推進します。

海士町住みよいまちづくり計画

（第4期海士町地域福祉計画・海士町地域福祉活動計画、第5期海士町エンゼルプラン、第5期海士町障がい者プラン）

各地区公民館、中央公民館、役場窓口、キンニャモニャセンターなどの公共施設などでご覧いただけます。

海士町

結婚したとき

◇結婚祝金 継続

海士町にお住まいの方が結婚した場合、結婚お祝いとして1組50,000ハーンを支給します。

妊娠したとき

◇出産準備金 拡充（R2.7.1母子手帳交付者～）

妊婦1人につき妊婦健診に係る交通費等、出産準備金として15万円を支給します。（申請時と出産後に2分割）

◇出産時の宿泊費助成 継続

出産等に係る宿泊費を助成します。

レインボープラザ：2,000円助成（本人負担1,000円）
レインボープラザ以外：2,000円助成

◇里帰り出産の交通費助成 継続

分娩のため里帰りする際の交通費として、海士町から里帰り先までの距離に応じて5,000円～50,000円を支給します。

海士町すこやか子育て支援事業

◆海士町での結婚・妊娠・出産・子育てを応援します！

◆令和2年7月1日より現制度から本紙に記載の内容に変わります！
（詳しい内容・必要書類は健康福祉課へお問い合わせください。）

出産したとき

◇すこやか祝金 継続

赤ちゃんが生まれたらお祝い金を支給します。（分割、一部ハーン支給）

1人目 10万円 2人目 20万円 3人目 50万円 4人目 100万円

不妊治療を受けるとき

◇不妊治療費助成 拡充（R2.7.1申請分～）

不妊治療等を受けているご夫婦に対して、不妊治療等に要する費用と、交通費・宿泊費を助成します。

一般不妊治療に要した医療費：上限10万円／1年間
特定不妊治療に要した医療費（県の助成に上乗せ助成）：上限10万円／1年間

交通費：島後 1,300円、隠岐島外 2,600円
宿泊費：4,000円 ※交通費・宿泊費は限度額30万円

子どもを育てるとき

◇乳幼児～子どもの医療費無料化 拡充（R2.7.1受診分～）

中学3年生までの医療費を無料化します。
※6月末に配布する受給資格証を県内医療機関にご提示ください。

◇18歳以下の子どもの通院費等助成 継続

18歳以下の子どもが精密検査等で通院したときの交通費と宿泊費を助成します。

交通費：島後 1,300円、隠岐島外 2,600円 / 宿泊費：4,000円
【加算額】
島後 小学生：600円 / 中学生以上：1,300円
隠岐島外 小学生：1,300円 / 中学生以上：2,600円

◇保育料軽減 継続

第3子以降の保育料を無料とします。

◇チャイルドシート購入費の助成 継続

チャイルドシートの購入金額の1/2を助成します。
補助基準額上限：40,000円

◎チャイルドシートの貸出も行っています。
海士町役場健康福祉課：短期利用の方向け（～2ヶ月）
島前交通安全協会（浦郷警察署内）：長期利用の方向け（～6ヶ月）

第5期海士町エンゼルプラン

海士まるごと安心家族

～つなぐよみんなで 子育ての輪～



基本目標1

安心して子どもを
産み育てられる環境づくり

1. 安心して出産するための支援
2. 子どもの健やかな成長の支援
3. 保育・一時預かり事業の充実
4. 経済的支援の充実

基本目標3

健やかに子どもを
育むための島づくり

1. 子どもと子育てにやさしい環境の整備
2. 子どもと子育て家庭と地域をつなぐ活動の充実
3. 生きる力の育成

基本目標2

親子育ちを見守り
支える地域づくり

1. 妊娠・出産・子育て期に係る支援の強化
2. 要保護児童対策の継続
3. 保護者の学習機会や相談体制の充実
4. 住民に対しての意識啓発

基本目標4

若者の希望を叶える
きっかけづくり

1. 若者の暮らしの充実
2. 若者の出会いの応援

海士町エンゼルプランの基本理念は「海士まるごと安心家族～つなぐよみんなで 子育ての輪～」としました。未来を担う子どもたちが心豊かで健やかに育つよう、子育て家庭と地域の人・関係機関がつながり子育ての輪を町全体につないでいくことで、安心して子どもを育てることができるまちを目指そう、という思いを表しています。今後、子育てを支援するあらゆる関係機関と連携し、子育て中の方やこれから子どもを産み育てていく方の声を聞きながら子育てしやすい環境を整えていきます。離島のハンデ軽減や子育て応援のためのすこやか子育て支援金（本面、上部記載）や各機関でのさまざまな事業（裏表紙記載）をあなたの子育てにご活用下さい。また、子育て支援に力を貸して頂ける方のネットワークも今後整備していきます。町全体で、海士の子どもを育てていく気持ちで、ぜひ、お力をお貸し下さい。